

平成28年度

学長と学生代表者会議委員との懇談会議事要旨

[要望事項]

1. 「修学支援システム」のスマートフォンへの最適化

最初に、修学支援システムの改善についての要望が多かったため、取り上げさせていただきます。現在の修学支援システムに不便なところがないか聞き取り調査を行ったところ、「定期試験」のページが工学部以外ほとんど活用されていないことと、スマートフォンで開いた時の画面がパソコンで開いた時の画面と同じために操作がしづらいことがわかりました。

まず、「定期試験」のページについてですが、工学部以外の学部ではこのページに定期試験情報がほとんど載せられていません。これでは、状況によっては学生が定期試験の情報を得にくい場合が起こりえます。そのほか、障がいを持つ学生の中では、一切定期試験の情報を得られない可能性もでてきます。これを先生たちに修学支援システムから定期試験の情報が見られるよう活用していただくと、私たち学生にとっても、障がいを持つ学生にとっても、重要な定期試験の「情報」をいつでも確認できるようになります。

次に、修学支援システムをスマートフォンで使用した際に操作がしづらい点についてですが、おそらくパソコンよりも使われているスマートフォンで、修学支援システムを開くと、パソコンで開いた時と同じ画面が表示されるため、メッセージボックスなどに表示されている改ページボタンや表示されている文字が小さく、とても操作しづらく、読みにくくなっています。現在多くの学生が、スマートフォンを用いて修学支援システムを利用しています。是非とも、スマートフォン用に最適化・リニューアルを行っていただきますよう、ご検討をお願いいたします。

【機構長のコメント】

修学支援システムは平成29年9月にリニューアルされることとなっておりトップページやメッセージ機能もスマートフォン対応となる予定です。また、授業担当教員は特別な配慮を要する学生の有無や配慮内容についてもシステムを通じて把握できるようになる予定です。授業担当教員へは、学生に不利益が生じないよう配慮を依頼します。

定期試験情報の公開については、各学部の実情に応じ、可能な範囲での改善等について各学部での検討を依頼します。

2. 城北キャンパス内の外灯設備について

次の要望として、共通教育講義棟 A・B 前、愛大ミューズ北側、工学部本館東側駐輪場、教育学部本館東側及び 3 号館北側駐輪場に外灯の追加設置という要望が上がりました。

まず、共通教育講義棟 A・B 前と愛大ミューズ北側についてですが、授業がある期間は建物の明かりでやや照らされていますが、特に長期休暇などになると地面が見えないほど暗くなり、少々危険な状況にあります。また、共通教育講義棟 B 付近に関しては、図書館が近くにあるため、利用頻度が高いのにも関わらず外灯が少ししかないため、閉館後、暗くなったキャンパス内を通るのは不安になります。

工学部本館東側駐輪場と教育学部本館東側及び 3 号館裏駐輪場にも、外灯の設置をしてほしいとの要望がありました。夜間になると外灯がほぼないため、置いてある自転車が見えないこともあります。

外灯を増やすメリットとして、夜間にもよく利用する学内の通路が明るくなることで、防犯対策につながると思っていますので、検討いただきますようお願いいたします。

【学長のコメント】

現在、学内整備計画においての懸案事項であり新しく外灯を整備しつつ更新している状況ですが、早々に予算を確保して早い段階で要望いただいたものについて改善したいと思えます。また、キャンパス間で差別がつかないように、城北キャンパスだけでなく他のキャンパスについても同様に考えています。

3. 私たちから見た駐輪場

最後に、城北キャンパス内における駐輪場についての要望が多かったため、要望として取り上げさせていただきました。現在、城北キャンパス内には4400台を超える駐輪可能スペースが確保されていますが、その利用には大きな偏りが生じています。大学会館西側や総合研究棟2北側の駐輪場は利用する学生が多く、その稼働率は100%を大きく上回っており、スペースからはみ出して駐輪している自転車も多く見られます。しかしそれに比べて、第2体育館東側や西門北側、共通講義棟C近辺では利用する学生が少なく、稼働率はあまり高くありません。

共通講義棟C近辺は社会共創学部の学年進行により自然と稼働率は上昇すると考えられます。そこで、稼働率の偏りを大幅に小さくするため、南東側の大学入り口を拡大することと雨天時の事を考えて屋根の取り付けを行うことを提案させていただきたいと思います。南東側の大学入り口の拡大をすることで、大学正門から入って稼働率の高い大学会館西側や総合研究棟2北側の駐輪場を利用している学生を誘導することが期待できます。また、屋根の設置については、稼働率の高い総合研究棟2北側、第2体育館東側及び工学部西門北側の駐輪場に取り付けを行うことで、多くの学生が駐輪場を快適に利用することができることが想定されるため、検討をお願いいたします。なお、今回の要望において、私たち学生も駐輪マナーについては、反省すべきところもあり、今後、正しい駐輪マナーを守るように呼び掛けていきたいと思います。

【学長のコメント】

学生のみなさんに対して、大学からの情報が提供されておらず申し訳ないと思っています。キャンパスマスタープランに基づき、安心安全なキャンパス作りをコンセプトとして整備していきたいと思っています。城北キャンパス東側の進入路については、松山市の歩行者道路の拡張計画に入っており平成30年度に整備される予定ですが、先行して検討していきます。駐輪場については、整備計画の過渡期にあるためいろいろな問題が出てきますが、みなさんの知恵も借りたいと思いますので、学生の中の「組織作り」をしていただけないでしょうか。学生のみなさんに協力いただき解決策などを一緒に探っていきましょう。

[その他の報告事項]

1. 要望を取りまとめている段階で改善済の事項

下記事項を既に改善していただいています。

① 学祭の準備日及び片付け日

現 状 クォーター制が導入され、両日とも半日に短縮されたため、準備や後片付けの時間が全く足りず、また安全面も十分にチェックできない。

改善後 来年度は、準備日及び片付け日が1日に変更になる。

② 第2体育館の更衣室の占拠

現 状 個人が物品保管のため、鍵をかけたまま鍵を持ち帰ったり、ロッカーを私物化していたため、授業、課外活動の際に利用できにくい状態である。

改善後 掲示により予め告知し、ロッカーの中を全て掃除した後、ロッカーの鍵を取り外した。貴重品については、暗証番号入力式のロッカーを設置した。

③ 理学部の路面の点字ブロック

現 状 路面の色が点字ブロックの色と識別が難しい

改善後 改修済み

2. その他要望の多かった未改善の事項

改善は困難とは思われますが、複数の要望がありましたので、報告します。

① 工学部 2号館エレベーターの改修

【要望】

工学部 2号館エレベーター利用者から「いつ止まるかわからない」、「利用していて恐怖を感じる」などの声が多く、エレベーターを新しくして欲しい。もしくは厳しい安全点検や修理をして欲しい。

【回答】

学内のエレベーターについては、機器の経過年数・使用頻度等により改修・更新を順次実施しているところである。

安全点検については、保守会社にて点検を実施している。

② 教育学部のゴミ箱設置

【要望】

教育学部にもゴミ箱を設置できないか。

【回答】

以前は置いていたが、ごみ箱の分別ができず、愛クリーンのスタッフが再分別していた経緯がある。将来の教員としての自覚を持ってもらための教育の一環としても考えている。

③ 大学で使用する映像の字幕挿入

【要望】

講義で使用する映像への字幕挿入は一部改善されたが、聴覚障がい学生が出席する講義で使用される映像すべてに字幕が挿入されたわけではない。聴覚障がい学生が、Moodle で使用する映像にも字幕が挿入されていないものがある。聴覚障がい学生のため、すべての映像に字幕挿入をしてほしい。

また、テロップ表示で十分と判断されている映像もあるが、テロップでは字幕の役割を十全に発揮しないことも理解してほしい。

【回答】

徐々に対応しているが、予算や人員の点から全てに対応しきれていない。大学として、今後 100%を目指していきたい。